

日本機械学会 関西支部便り2014

関西支部長から関西支部の活動のご紹介

第90期関西支部長 小澤 守 (関西大学)

関西支部は、「関西地域における機械分野の学術および技術の進歩を図り、かつ工業の発展に尽くす」ことを目的として、様々な活動を展開してまいりました。それらの活動が多く局面において先進的であり、各界の注目を集めてきたのはご承知の通りです。

さて、東日本大震災とそれに伴う原発事故によって我が国のエネルギー事情は大きく変わり、原発の発電分を火力で補てんする関係から燃料費が増加し、我が国の貿易収支がかなり悪化した状況が続いています。加えて家電産業はじめ様々な分野で従来型の成長が望めなくなり、産業構造そのものの変革も陰に陽に進行しています。さればと言って第3次産業のみで我が国の将来が立ちいくはずもなく、やはり「ものづくり」を根幹とした産業構造をエネルギー問題、人口減少問題、そして当然ながらの高齢化問題なども含めた現代的課題に適合させていく以外に方法はありません。そのような産業の中核

を担う機械工業と機械工学に求められているものは、技術革新を中心としたイノベーションとそれを支える学術と工学教育の発展であり、つまりは人材育成です。関西という自由闊達な地域において、産学の交流を促進し、企業と教育機関の持てる力を結集して社会の要請にこたえていくことが関西支部の役割であります。

関西支部では、定時総会講演会・卒業研究発表講演会、懇話会による秋季技術交流フォーラムや専門部会などの学術・技術交流事業、講習会・見学会・ステップアップセミナー・特別フォーラムなどの教育・啓発事業、大学・高専と企業の交流を図るメカボケーション事業を企画・運営しています。さらに関西学生会による「メカライフの世界」展およびシニア会による「親と子の理科工作教室」等を通じた社会との交流事業も行っています。これらの事業を今年も推進し、さらなる活性化に努めてまいります。

関西学生会

関西学生会は関西地区の24の大学・高専の学生員で構成され、各校を代表する運営委員50名余を中心に活動しています。その活動は毎年11月の「メカライフの世界」展と3月の卒業研究発表会という二大イベントの他に、工場見学会やシニア会との交流会などがあり、運営委員会を年に8回程度開いて、学生が主体で活動しています。

昨年も11月16日(土)・17日(日)の2日間、神戸市立青少年科学館において小中学生を対象に機械工学に関するモノを実際に「みて」、「ふれて」、「たいけん」し、機械のしくみやものづくりの楽しさを体験してもらう「メカライフの世界」展が開催され、のべ734名の来場者を迎え大盛況でした。来場者アンケートでは、来場者の98%

の方に「期待以上」あるいは「期待どおり」と答えて頂き、子供たちから「また来年も来たい」、との意見ももらい、学生達も苦勞が報われて大変嬉しかったようです。活動に携わった学生達は一年後には見違えるほどに成長し、その活動は貴重な経験になっていると思います。

今年度も、昨年に負けない企画を学生諸君が鋭意準備中です。関西学生会の活動について詳しくは、関西支部HP内の関西学生会のページをご覧ください。



技術情報誌 MECHAVOCATION 2014

MECHAVOCATION は「機械技術者の天職」という意味の事業で、1993年度より展開し、関西に拠点を置く産業界と学界の交流の場を種々提供して参りました。

MECHAVOCATION2014はその核となる技術情報誌で、主として①関西支部賞受賞技術紹介、②協賛いただいた企業の紹介、③関西地域の大学・短大・高専の学校紹介から構成されており、日頃企業を知る機会の少ない

学生にとって将来の進路選択の媒体として有用な手段となっています。毎年、関西地区の機械系学生約6,500名、全国160校の就職担当教職員および協賛企業に配布する一方、インターネット版を公開し、支部と学校、企業を結ぶ情報媒体として広く活用いただいています。就職事情の厳しさが問題となっている現在、学生と企業の間を取りもつ社会貢献の役割を果たしています。

企業と学校関係者の技術情報交流会

MECHAVOCATION 刊行に付随する事業として、「学生と企業の交流会」を開催しています。2013年は12月14日(土)関西大学千里山キャンパスで開催されました。午前「大学・高専研究発表の部」、午後「企業技術発表の部」が開催され、協賛企業の中から50社103名、参加校27校470名(教員30名、学生440名、32件発表)の計573名が出席しました。午前は、学生側の研究内容を企業参加者に紹介するポスターセッションが行なわれ、両者の直接対話により、学生の研究内容が議論されました。企業の人事担当者も多数参加され、通常の学会とは異なり専門外の方に対しても、学生が研究の意義を分かりや

すく説明する良い機会となりました。午後は、企業のミニプレゼンの後、ブース別に出展企業から学生参加者に各社の独自技術や人材採用方針が説明され、自由に討論されました。夕方からの「懇親会」では、相互の交流で、学生は卒業後の進路を定める一助とすることができました。席上、優秀ポスター賞の表彰も行われ、大盛況でした。

2014年度は12月13日(土)に関西大学で開催が予定されています。



第89期定時総会・講演会・

2013年度関西学生会学生員卒業研究発表講演会

関西支部最大の行事である定時総会・講演会・関西学生会学生員卒業研究発表講演会が2014年3月17～19日に大阪府立大学(堺市)において開催されました。第89期目となるこの定時総会・講演会では、2日間で526名の参加のもと、研究発表講演300件のほか、基調講演5件、フォーラム5件、および関西支部賞受賞記念講演3件を含む計313件の講演発表と、(株)日建設計 江副敏史氏による「中之島フェスティバルタワーの設計」、ならびに大阪府立大学 池田良穂先生による「造船技術の最先端」の特別講演がありました。定時総会の席上では定例の議案審議の後、関西支部賞4件、支部長特別表彰2件、学生員増強功労者12校の表彰も行われました。また、関西学生会卒業研究発表講演会では、ダイハツ工業(株)田中裕久氏による「燃料電池を用いる貴金属フリー燃料電池技術」の特別講演が行われたほか、学生員が卒業研究の成果を発表し、座長も学生員が務め、学術・技術の発展に貢献するとともに、学生員相互の交流を深める良い機会でした。今回は706名の参加者を得る中、387件の講演発表が行われ、活発な卒業研究発表講演会となりました。本講演会では研究発表全体の評価が行われ、支部長から Best Presentation Awards が37名の学生員に贈呈されました。さらに、3月20日には定時総会見学会が独立行政法人 造幣局本局にて催され、貨幣工場、装金課等を見学させて頂きました。

組織と活動の概要

支部は、定時総会講演会のほか、産官学の研究者が集う9つの懇話会の企画による秋季技術交流フォーラムや、商議員・代表会員が専門分野ごとに所属する5つの専門部会の協力の下に年6回の講習会を開催しています。また、学生員が主体的に運営している関西学生会や、経験・知識で社会貢献等に取り組むシニア会が活発に活動する一方、3月の定時総会と年3回の商議員会で意見交換しながら、支部運営を毎月開催の幹事会が担っています。

第90期 2014年度主要行事（予定）

'14.04	第1回商議員会・専門部会
'14.05	第331回講習会
'14.07	第332回講習会
'14.08	「機械の日・機械週間」記念行事
'14.09	第2回商議員会・専門部会
	特別フォーラム
	第642回見学会
'14.10	第333回講習会
'14.11	第15回秋季技術交流フォーラム [兵庫県立大学]
	第334回講習会
	ステップアップ・セミナー2014
	関西学生会「メカライフの世界」展
'14.12	第335回講習会
	MECHAVOCATION2015「学生と企業の交流会」
'15.01	第336回講習会
'15.02	旧新商議員会・専門部会
	就職に関する企業と学校の交流会
	2014年度関西学生会卒業研究発表講演会[京都大学]
'15.03	第90期定時総会・講演会 [京都大学]
	第90期定時総会見学会